

国療多発第74号

令和4年4月28日

厚生労働省健康局難病対策課長 殿

国立療養所多磨全生園長

( 公 印 省 略 )

## 歴史的建造物等保存対象リスト等の提出について

令和元年6月14日付の貴職通知「歴史的建造物等の保存について（依頼）」に基づき、歴史的建造物等保存対象リスト等を提出しますので、保存等に必要な予算示達等よろしくお取り計らいをお願いします。

### 【提出書類】

- 歴史的建造物等保存対象リスト
- 少年少女舎について
- 工程表
- 多磨全生園の将来構想

2009年4月2日

全療協事務局長

神 美知宏様

多磨全生園入所者自治会

会 長 佐川 修

## 多磨全生園の将来構想

### 1. 医療、看護、介護の確保と生活環境の改善

全生園の入所者数は299名（3月18日現在）、平均年齢も80歳を超え、不自由度化が進み、体力も減退し、思考力も日ごとに薄れています。

10年後には100名前後となり、20年後には10名前後になると予測されます。そういう中で、私たちが恐れることは、入所者減による職員の定員減で入所者に対する対応がおろそかになるのではないかと心配されます。高齢で知覚麻痺があり、3重、4重の合併症を持つハンセン病の特殊性を関係者は認識して職員の定員削減をやめてほしい。入所者が最後まで医療、看護、介護を十分に受けられ、安心して生活できる環境を整備して頂きたい。これが私たちの将来構想第1の要望です。現実の問題ですが、将来につながる重大な問題です。

これは全療協の最重点要求項目で全支部共通の問題ですが、多磨支部のアンケートでも会員が最も望んでいる件です。

## 2. 人権の森構想

地球温暖化の影響で CO2（二酸化炭素）が問題視され、樹木の大切さが論じられておりますが、全生園では開院当時から植樹が行われておりました。1948（昭和 23）年には緑化委員会が設置され、入所者による寄付金で様々な植樹活動が行われました。戦後の混乱した社会情勢の中で、会は自然解消の状況でしたが、折に触れ植樹は続けられてきました。

自用費制度で生活環境が一段落した 1971（昭和 46）年、自治会は再度緑化委員会を設置し、矢嶋公園、新井公園、けやきの丘、一人一木運動、県木の森、成田庭園、森林浴道、大西通り、村上梅林、桜公園、などを次々と造成し、管理してきました。

宮崎駿監督の提案で、全生園の 3 万本の樹木とともに、史蹟建造物（山吹舎、望郷の丘、永代神社、旧図書館など）を保存し、ハンセン病の歴史を後世に伝えよう。資料館、納骨堂、ハンセン病研究センターを含めた全生園全体をハンセン病記念公園「人権の森」として残そう！と、2002（平成 14）年に「人権の森構想」を立ち上げました。

東村山市議会も賛同の決議をし、自治会と市関係者が厚労省に要請、また市長、議長も要請書を手渡して下さいました。東村山市緑を守る市民協議会も支援をして下さり、毎年秋の緑の祭典は全生園で開催してくれます。

また、昨年 2 月に発足した NPO 東村山活き生きまちづくりも事業の一つとして「人権の森委員会」をつくり、いろいろな面で支援、協力をして下さっております。

その他多くの市民が『隠れた史跡めぐり』をしたり、花や樹木を眺め、小鳥の声を聞くための散歩に訪れております。

『人権の森構想』の実現は私たちの将来構想の第2の重要事項です。以上2点は運動を継続しておりますが、全生園の将来構想として提出いたします。

### 検討事項 市内某保育園よりの要望について

昨年、東村山市内の某保育園の園長が来園し、松谷園長と佐川自治会長に次のような要望がありました。

「私たちの保育園は0歳から5歳までの幼児106名を預かっています。3階建ての園舎は古くて危なくて建て替えの必要が迫られています。人口15万の東村山市ですが、保育所が足りず、多くの子供が保育所へ入れない現状です。それで、基本法を生かして、全生園の中に保育所を建てさせてほしい。土地さえ貸して頂ければ建築費用はすべて自分たちで工面します。また、新保育所の建物が完成したら、全生園の職員保育所の児童は優先的に受け入れます。保母さんたちも全員私たちの保育園で引き受けます。」  
と言うものです。

施設では「土地を貸す場合は市内の全ての保育所より公募しなければいけない」と言っております。

基本法を活かした将来構想の一つとして実現に向けて検討を進めております。